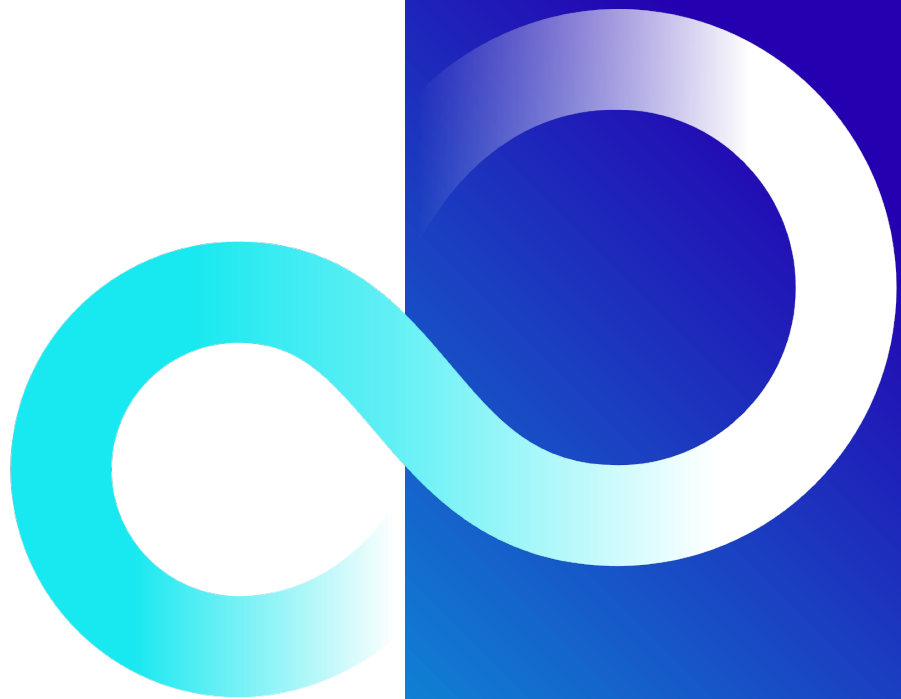


Fujitsu Software NetCOBOL

FUJITSU



オーブンプラットフォーム
COBOL開発・運用環境

クラウド、モバイルを含む最新プラットフォームに対応し、高品質なCOBOLアプリケーションの開発から運用までを支援するCOBOL開発・運用ソフトウェア

サーバ資源の効率的な利用によるコスト削減や運用管理の効率化などの要望から、クラウドへの関心が高まっています。また、働き方改革のひとつとして、従来の業務をモバイルで運用する取り組みも始まっています。このような環境の中、お客様の既存COBOL資産を活かし、長期に渡りビジネスの成長を支援するのが「NetCOBOL」です。クラウド、モバイルおよびビッグデータ活用を支える富士通のミドルウェア製品と組み合わせることで、お客様のCOBOL資産の価値をさらに高めます。

NetCOBOLの主な特長

COBOL資産を長期間、安心して利用

ロードモジュールの上位互換を保証しています。長期に渡り、リコンパイルすることなく、ロードモジュールを安心して利用できます。また、他社互換機能の実装により、他社のCOBOL資産も利用できます。

信頼性の高い基幹システムの適用範囲拡大

.NET、Java連携で、基幹システムの適用範囲を拡大できます。特に基幹システムを支える富士通のミドルウェア「Interstage」との連携により、堅牢で柔軟性の高い基幹システムを構築できます。

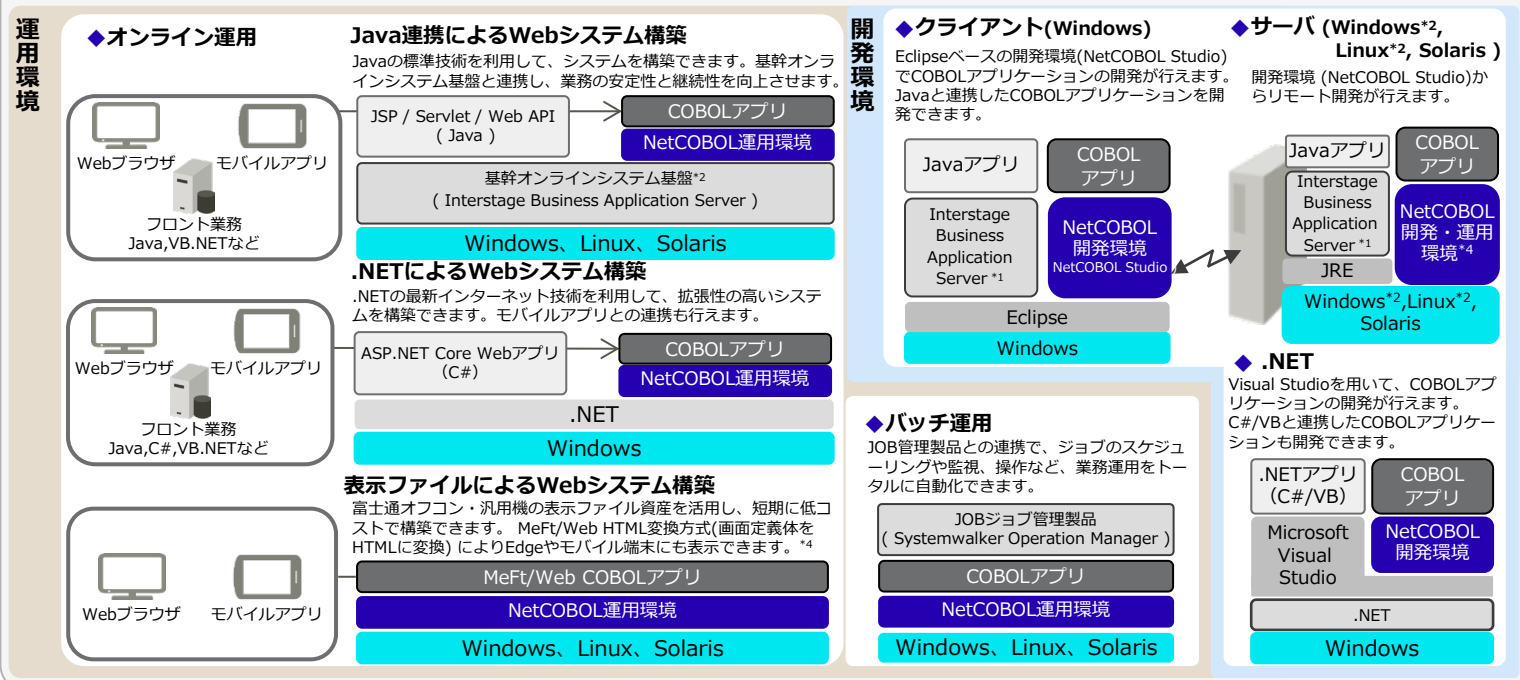
効率的で高生産なプログラム開発

統合開発環境(Eclipse^{*1}、Visual Studio)により、設計・プログラミング・テスト・保守までの開発プロセス全体を効率化できます。バッチからオンライン、オンプレミスからクラウドまでのアプリケーションの開発を支援します。

高い実績と安心サポート

60年以上の実績を持つメインフレーム、オフコンのCOBOLをベースに、オープンプラットフォームに展開され、20年以上の実績を持ちます。富士通の支援サービス「SupportDesk」と全国営業拠点のサポート体制により、安心して利用できます。

NetCOBOL概要図



既存のCOBOL資産を最新技術環境で活用する機能を提供

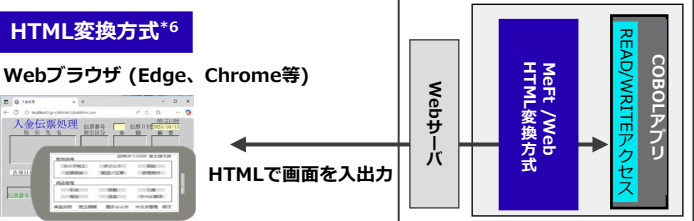
RESTful Webサービス化によるCOBOL資産の活用

既存のCOBOLアプリケーションをRESTful Webサービス化することで、様々な言語で作成されたアプリケーションから呼び出すことができます。RESTful Webサービス化するためには、REST APIプログラムをVB、C#またはJavaで作成します。また、JavaからのCOBOLプログラムの呼び出しを支援するライブラリを提供しています^{*5}。



MeFt/Webのマルチブラウザ対応でモバイル運用が容易

MeFt/Web HTML変換方式により、Webサーバ上で動作する画面入出力を行う利用者プログラムの画面データから、サーバ側でHTMLを生成して、Webブラウザに表示することができます。EdgeやChrome等のブラウザにも対応し、容易に既存の運用をモバイル運用にすることができます。



他社COBOLとの高い互換性

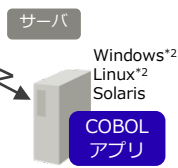
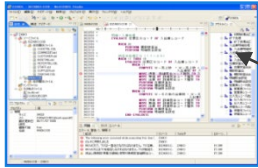
- ・ COBOL固有の言語仕様をサポート：同義語、符号領域がない内部10進形式のデータ項目(USAGE IS COMPUTATIONAL-6句)
- ・ 他社COBOLサブルーチンをサポート：他社COBOL CBLサブルーチン^{*7}

設計から保守まで、一貫して支援するNetCOBOL開発環境・関連製品

設計・プログラミング

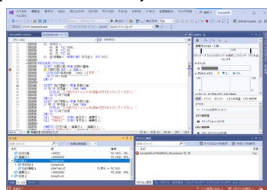
編集・ビルド

■ Windows(NetCOBOL Studio)



- ・Eclipse *1によりプログラム編集およびコンパイル、リンクとビルド作業を効率化できます。
- ・Windows開発環境で作成したプログラム資産を運用システム(Windows*2、Linux*2、Solaris)に転送し、Windows側からリモートビルドできます。
- ・エディタの分割表示やショートカットキーによるフォントサイズの拡大・縮小などにより、エディタ使用時の操作性を向上できます。

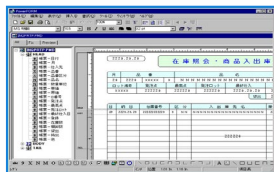
■ .NET(Visual Studio)



- ・C#およびVBの統合開発環境であるVisual Studioで、.NET上で動作するCOBOLアプリケーションを開発します。

画面/帳票設計

■ Windows(FORM)



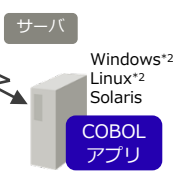
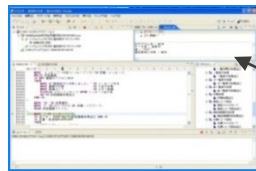
帳票デザイナー

- ・Windows環境の専用エディタにより実イメージで作成できます。
- ・スキャナで読み取った帳票イメージを活用できます。
- ・メインフレーム・オフコンで作成した画面帳票、オーバーレイ定義体を活用できます。

※本機能は、Windows版 NetCOBOL Standard Edition 以上の開発パッケージに同梱しています

テスト

デバッガ



- ・豊富なデバッグ機能(中断点設定、データ内容監視、データ変更)により、テスト作業を効率化できます。
- ・エラー箇所、エラー種別、システム情報、呼び出し経路などの詳細なデバッグ情報を出力する診断レポートにより、運用時のトラブルシューティングの時間を大幅に削減できます。
- ・Windows版で提供するNetCOBOL Studioのリモート開発機能により、Windows*2、Linux*2、Solaris上のプログラムをデバッグできます。

テスト支援

■ Windows/Linux/Solaris(SIMPLIA)

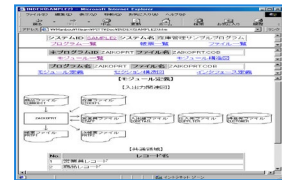
テストデータ

- ・COBOL登録集やファイル定義体の情報からCOBOLファイルを編集できます。
※本機能は、Windows 64bit V13.0.0以降およびLinux(Intel64)NetCOBOL V13.0.0以降では開発パッケージに同梱されなくなりました
別途、SIMPLIA製品をご購入ください
- ・メインフレームの既存データから、テストデータや運用データを作成できます。
※本機能は、Windows 64bit V13.0.0以降およびLinux(Intel64)NetCOBOL V13.0.0以降では開発パッケージに同梱されなくなりました
別途、SIMPLIA製品をご購入ください
- ・作成したテストデータとテスト結果のデータを画面で比較でき、テスト結果を容易に確認できます。
※本機能は、Windows 32bit NetCOBOL Professional Edition 以上の開発パッケージに同梱しています

保守

ドキュメント作成支援

■ Windows (SIMPLIA)



入出力関連図

- ・開発資産から、画面・帳票/ファイル/アプリケーション構造/モジュール設計書などの保守ドキュメントを生成できます。
※本機能は、Windows 32bit NetCOBOL Professional Edition以上の開発パッケージに同梱しています
- ・COBOLが出力するCOUNT情報(プログラムの各文の実行回数)から修正したプログラムのテスト量を把握できます。
※本機能は、Windows 64bit V13.0.0以降は、開発パッケージに同梱されなくなりました
Windows版NetCOBOL V12.2.0以前は、Professional Edition 以上の開発パッケージに同梱しています
- ・COBOLソース、登録集ファイルからステップ数を計測し管理用データを収集できます。
※本機能は、Windows 64bit V13.0.0以降は、開発パッケージに同梱されなくなりました
Windows版NetCOBOL V12.2.0以前は、Professional Edition 以上の開発パッケージに同梱しています

アプリケーションの安定稼働を支えるNetCOBOL運用環境

■ 最新環境をサポートし、COBOL資産の長期安定稼働を実現

- ・基幹オンラインシステム基盤「Interstage Business Application Server」と連携し、業務の安定性と継続性を向上させ、高性能・高信頼化することができます。
- ・Enterprise Postgres、Symfoware、Oracle、SQL Server、Amazon Aurora(PostgreSQL) *8 /Amazon RDS for PostgreSQL *8、ActianZenなどのRDBをサポートします。
DBへのアクセスは、SQL文だけでなく、DBアクセスソフトウェア「PowerRDBconnector for NetCOBOL *9」と連携することでCOBOLの入出力文(READ / WRITE文など)で行えます。
- ・シフトJISサポートにより、文字コードにシフトJISを使用したWindowsやSolarisからLinux(Intel64)へ移行する際、Unicodeへの変換が不要となり、プログラム修正やデータ変換の工数と移行リスクを削減できます。
- ・同一プラットフォームにおいて、旧バージョンでビルドした実行モジュールは、新バージョンのNetCOBOL運用環境での動作を保証します。
また、プラットフォーム間でソースファイルの互換を保証します。 *10
- ・内部浮動小数点の形式として富士通メインフレーム形式の浮動小数点データを扱うことができます。 *11

*1 : Linux 64bit V13.0.0以降では開発パッケージにEclipseは同梱せず、EclipseにインストールするNetCOBOL Studioプラグインを提供します。別途、Eclipseをご準備ください。
*2 : アプリケーション基盤(Interstage Application Server)でも連携できます
*3 : 64bit版のみサポート
*4 : WindowsはNetCOBOL開発パッケージ、Linux、SolarisはNetCOBOL開発・運用パッケージが対応
*5 : COBOL Invoker for Java : Windows/Linux 64bit V13.0.0以降サポート
*6 : Windows(x64), Linux(Intel64) NetCOBOL Standard Edition以上でサポート
*7 : サブルーチンのサポート状況についてはマニュアルを参照してください

■ 基幹システム構築で培ってきた安定稼働を支える機能

- ・運用トラブル発生時でも、以下の調査機能によりシステムの安定稼働を支援します。
 - CHECK機能により呼び出しのパラメタ検査、添字検査、除算ゼロ検査が可能です。
 - TRACE機能によりエラー発生までのプログラム実行経路をトレースできます。
 - メモリチェック機能によりメモリ領域破壊が検出された際に原因となるプログラムを絞り込みます。
- ・高性能データソート・マージユーティリティ「PowerSORT *12」との連携によりバッチおよびオンライン業務の大幅スピードアップができます。
【PowerSORTの特長】
 - 高性能なデータのソート、マージ機能によりSORTコマンドや、COBOLアプリケーションで行うソート・マージの処理時間を大幅に短縮します。
 - データの条件選択、データ項目の変更・追加および数値データの合計値計算など、様々なレコード処理ができます。
 - バッチ処理、NetCOBOLのSORT文/MERGE文およびC言語のアプリケーションなど、用途に応じてPowerSORTを利用できます。

*8 : Linux 64bit V13.0.0以降サポート

*9 : OracleおよびSQL Serverをサポート

*10 : プラットフォーム固有の機能(コード系、システム依存の関数など)およびOS、連携製品などにより非互換が発生する場合は除く

*11 : Windows(x64), Linux(Intel64) NetCOBOL Enterprise Editionでサポート

*12 : NetCOBOL Enterprise Editionに同梱。機能、動作環境、価格等の詳細はホームページをご覧ください

製品一覧

Windows版 製品名	サーバ動作OS	クライアント動作OS
NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ NetCOBOL Professional Edition 開発パッケージ NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ	Microsoft® Windows Server® 2025 Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016	Windows® 11
NetCOBOL Base Edition クライアント運用パッケージ NetCOBOL Standard Edition クライアント運用パッケージ	－	Windows® 11
NetCOBOL Base Edition サーバ運用パッケージ NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ	Microsoft® Windows Server® 2025 Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019 Microsoft® Windows Server® 2016	－

※ 32ビット製品はWOW64(Windows 32-bit On Windows 64-bit) サブシステム上で32ビットアプリケーションとして動作します。

.NET版 製品名	サーバ動作OS	クライアント動作OS
NetCOBOL Base Edition 開発パッケージ for .NET NetCOBOL Standard Edition 開発パッケージ for .NET NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ for .NET	Microsoft® Windows Server® 2025 Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019	Windows® 11
NetCOBOL Base Edition クライアント運用パッケージ for .NET NetCOBOL Standard Edition クライアント運用パッケージ for .NET	－	Windows® 11
NetCOBOL Base Edition サーバ運用パッケージ for .NET NetCOBOL Standard Edition サーバ運用パッケージ for .NET NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ for .NET	Microsoft® Windows Server® 2025 Microsoft® Windows Server® 2022 Microsoft® Windows Server® 2019	－

Linux版 製品名	動作OS
NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ	Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

Solaris版 製品名	動作OS
NetCOBOL Base Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Base Edition 運用パッケージ NetCOBOL Standard Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Standard Edition 運用パッケージ NetCOBOL Professional Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ	日本語Oracle Solaris 11 日本語Oracle Solaris 10

※ 各製品エディションとサポートOSの組み合わせについては、NetCOBOLホームページをご参照ください。

関連ソフトウェア

関連ソフトウェア名	製品概要
PowerSORT	高性能データソート・マージユーティリティ
Interstage Business Application Server	基幹オンラインシステム基盤
Interstage Application Server	アプリケーションサーバ基盤
SIMPLIA	アプリケーションの開発及び保守作業を支援するツール群
PowerRDBconnector for NetCOBOL	DBアクセスソフトウェア 本製品はエフサステクノロジーズ株式会社の製品です

*Microsoft、Visual Studio、Windows、Windows Server、および Microsoft Edgeは、マイクロソフト企業グループの商標です。
*Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の登録商標です。Linux(R)は米国およびその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。
*Oracle®およびJavaは、Oracle、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
*ActionおよびAction Zenは、Action Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。
*Google Chromeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
*本資料では、Microsoft EdgeはEdgeと表記しています。*本資料では、Oracle SolarisはSolarisと表記しています。*本資料では、Google ChromeはChromeと表記しています。
*本資料に記載されているその他の会社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。*本資料に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示 (TM・®) を付記しておりません。
■画面の情報については、予告なく変更されることがあります。■動作環境の詳細、価格等はホームページをご覧ください。